

PROFESSIONAL SYSTEM BOARD

SB-200 FUNCTIONS

電源パネル

OUT LEVEL INDICATOR: SB-200の出力レベルをチェックするLEDインディケータです。
ALL PASS SW: INPUTからの原音をそのままOUTPUTへダイレクトに送るためのスイッチ。
オールパス状態にするとOUT LEVEL INDICATOR



CATORが周期的に点滅するしくみ。いっせいにエフェクトをオフしたい場合やトラブルの発生時などにご利用ください。またシステムボード外で電源が切れた場合にも、自動的にオールパスになるのでプレイが中断しません。
PHONES OUT: ヘッドホン用出力端子。通常は、SB-200のトータルな出力信号をモニターできます。また、PHONES INを使えば外部からの入力信号をモニターすることもできます。
PHONES IN: 外部信号を優先的にヘッドホンモニターするための、外部信号の入力端子。各エフェクターユニットや楽器のアウトを接続すれば、サウンドチェックに利用できます。
PHONES VOLUME: ヘッドホンボリューム。
SIGNAL CORD CHECK: 接続コードをチェックするためのセクション。コード両端のプラグを差し込むと、コードの断線がない時のみLEDインディケータが点灯するしくみです。

リアパネル

POWER SW: SB-200の電源のスイッチです。
POWER IND: 電源をオンすると点灯します。
INPUT: 楽器を接続するための入力端子です。
OUTPUT: アンプにつなぐための出力端子です。
LIGHT CONNECTOR: フレキシブルアームの

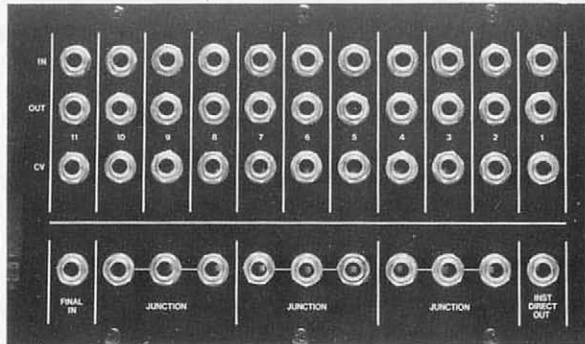
パネルライトを接続するコネクター。暗いステージ上でも確実に操作することができます。



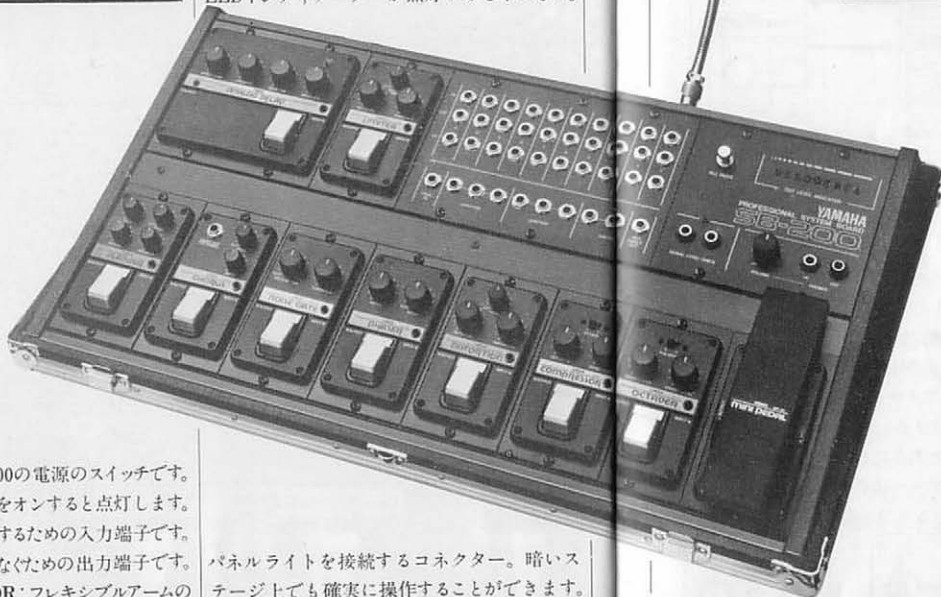
パッチパネル

IN (1-11): それぞれのポジションのPSEユニットのINPUTと内部で接続された入力端子。
INにプラグを差し込むと、そのポジションのユニットと前のポジションのユニットとの接続が切れ、INからの信号がそのポジションのユ

ニットに入力されます。接続順序を変更する場合や、外部エフェクターを割り込ませる場合に使用します。ポジションナンバーは下段右端が1番。上段左へと順にならんでいます。
OUT (1-11): それぞれのポジションのPSEユニットのOUTPUTと内部接続された出力端



子。OUTにプラグを差し込むと、そのポジションのユニットと後のポジションのユニットとの接続が切れ、OUTからそのポジションのユニットの信号を取り出すことができます。INと組み合わせて、エフェクター接続順の変更や、外部エフェクターの割り込みなどに使用します。
CV (1-11): SB-200にミニペダルMP-01をマウントし、ポルテージコントロールペダルとして使用する場合の、CV (コントロール電圧) の入出力兼用端子。MP-01のポジションのCV電圧と、目的とするエフェクターのポジションのCV端子を接続します。フランジャーFL-01のMANUAL、アナログディレイAD-10のDELAY TIME、パラメトリックイコライザーPE-01のFREQUENCYの3つのファンクションをCVでコントロールすることができます。
INST DIRECT OUT: リアパネルのINPUT端子へはいた楽器信号を1番のユニットに送らず、ダイレクトに取り出すための端子です。
FINAL IN: リアパネルのOUTPUT端子に内部接続された入力端子。11番のユニットの信号をOUTPUTへ送らず、かわりにFINAL INからの信号をOUTPUTへ送ることができます。
JUNCTION: 1つの信号を2つに分けるための端子。3つの端子が並列で接続されています。



YAMAHA